

私にとって昨年は、ここ十数年の年とはちょっとちがう年になった。大学卒業以来、二十数年のこの年齢になって、再び学生となったのである。久々の初々しい気分。私には、見るモノ聞くモノすべて感激だ。自己紹介と大学院に入ったいきさつからお話しよう。私は、社団法人日本女子プロゴルフ協会に属するプロゴルファーである。プロといっても、一年中トーナメントに出場しているツアープロではない。以前は出場していたが、今はレッスンやゴルフ関連事業へのアドバイス等が主な仕事。しかし今でも試合に出る権利を得た時(月例のポイントによる)は、ツアーに出かける。プロにとって技術を磨くには試合が一番いい。

協会では数年前よりインストラクターの要請にも力を入れ、勉強会、講習会を開催している。私はその担当委員で、講習会の講師をお願いする大学の先生方と会う機会が多くなった。私は興味のある分野の話を、よく先生をつかまえて聞いてもらったり、アドバイスを頂いたりした。そのうちに大学の研究室に遊びに来いということになり、出入りが始まった。そして、いっそ正式に大学院を受験したら……ということになり、一昨年十月に受験をした。高校受験以来のことで、懐かしさと不安が入り交じったあの緊張感は、試合のバットを決める

Column イン エリおばさん奮闘記 筑波①

時の心境と同じだ。そして嬉しい入学が決まった。晴れて昨年の四月、筑波大学大学院体育研究課コーチ学修士課程の一年生となった。

私のように仕事を持っている者は社人選抜という枠で入学するが、若い現役の学生に交じっていると、つい、自分の年齢など頭からぬけてしまう。

大学院に入って感じたことは学生たちの意識の差だ。大学までは義務教育の延長で進んでくるが、大学院へは学業への目的を持って来ている。

それに親からの援助も大学時代より気がねしているらしく、本当に皆、苦しい中を頑張っている。大学院修了までには30単位以上とらねばならず、在籍できる年数は最高四年。必要単位を満たし、修士論文が通れば一年でも卒業できる。

私の大学院での目的は一言で言えば、ゴルフ指導法の研究だ。しかし入学して色々な授業を受けていくと、他のことにも興味がわいてくる。何事につけ浮気は禁物なのであるが、知らなかったことを知っていくとなかなか面白い。学校へは週二日、一泊二日のスケジュールで通っている。その二日間に十時間(十課目)をとっている。興味のある授業ばかりなので、75分の授業はあっという間に終わってしまう。希望に満ちたウキウキの学生である。

(梶井映里・W S F ジャパン会員)

世界が認めた、信頼性。

日本舗道が設計施工したテニスコートは、全国各地でテニス愛好家に親しまれています。

世界の4大イベントにつぐジャパンオープンが開催される有明コロシアムのセンターコート設計施工は、その代表的な仕事です。快適なスピード感、正確なバウンド、プレイヤーの脚腰への衝撃緩和などが要求されるコートづくりを通じ、世界よりおきな信頼を獲得しました。日本舗道は、このおきな信頼に応えるため、今後とも技術力の向上にチャレンジしていきます。



日本舗道

●日本テニス協会推薦 ●日本軟式野球連盟公認 ●日本プロテニス協会公認

本社：〒104 東京都中央区京橋1-19-11 ☎(03)3563-6711

北海道支店 ☎札幌 (011)842-8866

東北支店 ☎仙台 (022)262-1516

関東第1支店 ☎東京 (03)3471-8371

関東第2支店 ☎東京 (03)3837-0452

北信越支店 ☎新潟 (025)244-9186

中部支店 ☎名古屋 (052)211-6581

関西支店 ☎大阪 (06)942-6123

四国支店 ☎高松 (0878)62-1157

中国支店 ☎広島 (082)246-8322

九州支店 ☎福岡 (092)771-0266